

期		I 期 (4月・5月)	II 期 (6月・7月・8月)
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ○年長組になった喜びや期待が見られるが、中には緊張感や不安感を持つ子どもがいる。 ○基本的な生活習慣は、ほぼ身につけているが、保育者のことばがけがある場合がある。 ○戸外遊びを好み友達といっしょに活発に活動する。 ○年下の子の世話や手伝いをしようとがんばる姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達への関心が広がる中で、力関係や遊びに対する考えの違いから、ぶつかり合いながらも友達の思いやよさに気づくようになる。 ○生活範囲が広がり、活動が活発になり、危険な遊び方をする姿が見られる。 ○身近な自然に興味や関心を持ち、絵本を見たり図鑑で調べたりしている。 ○年下の子もたちとの交流も多くなり、いっしょに楽しく遊んでいる。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの欲求を満たし、快適に過ごすことができるようにする。 ○新しい環境に慣れ、気の合う友達とかかわりながら遊びや生活を楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、保育者と共に自分たちの生活を作り出す。 ○異年齢の友達の世話をしたり遊んだりしながらかかわりを持ち、親しみを持つ。 ○身近な動植物に触れたり、愛情を持って世話をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりが安心して自分の気持ちや考えを表しながら生活できるようにする。 ○友達とのかかわりを深め、思いを伝え合いながら遊びを広げる。 ○身近な動植物に触れ、見たり試したりして、その大きさや、美しさ、不思議さに感動する。 ○年下の子と生活や遊びを楽しむ中で、思いやりの気持ちを持つ。
内容		<ul style="list-style-type: none"> ○施設内の環境・保健に十分に留意し、快適に生活できるようにする。 ○ひとりひとりの子どもの気持ちや考えを受容し、保育者との信頼関係ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○梅雨や暑い時期の健康状態に十分に配慮し、水分補給や休息などを適切に対応する。 ○情緒の安定を図り、自分の気持ちや考えを安心して表し、安定した生活ができるようにする。
		<ul style="list-style-type: none"> ○戸外で積極的に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○園でのルールを知り、進んで守る。 ○危険なことがわかり、安全に気をつけて遊具や用具を正しく使う。 ●友達と楽しく生活したり、遊んだりする楽しさを味わう。 ●友達と生活する中で、決まりの大切さに気づく。 ●生活の中で、必要なことに気づいて自分でしようとする。 ●年下の子の世話をし、親しみを持つ。 ○身近な自然や動植物に関心を持ち、触れ、世話をしたりする。 ○自然物を利用して遊ぶことを楽しむ。 ●保育者や友達の話を聞き内容を理解し会話を楽しむ。 ●自分の気持ちを相手にわかるように伝えようとする。 ○いろいろな素材を使って、感じたことを描いたり作ったりする。 ○友達といっしょに歌ったり、体で表現することを楽しんでしたりする。 ●静かに並び、礼拝に参加する。 ●喜んで讃美歌を歌う。 ●世界を創造された神様の偉大さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏の生活のしかたがわかり、自分で汗の始末や衣服の調節をする。 ○体と食べ物との関係に興味を持って、友達と楽しく食事をする。 ○戸外遊びに参加し、全身を使ってダイナミックに遊びを楽しみ、適切な休息の取り方に気づく。 ○自分の体に関心を持ち、健康生活に必要な習慣や態度、健康な生活のリズムを身につける。 ●異年齢の友達に、生活や遊びの中で優しくかかわる。 ●遊びの中での思いや感情のいき違いを通して、相手の気持ちをわかろうとする。 ○身近に起こるいろいろな事象に関心を持ち、疑問に思ったことを試したり、調べたりする。 ○身近な動植物に親しみ、進んで世話をする。 ●友達と相談・提案してさまざまな遊びをする。 ○見たことや聞いたことをいろいろな素材を使って、工夫して表現する。 ○歌うことを楽しみ、曲を聞いたり、合わせて踊ったり、楽器を弾いて楽しむ。 ○絵本や童話、図鑑などを見たり、聞いたりし、想像することを楽しむ。 ●お祈りを進んでやろうとする。 ●喜んで賛美し、暗唱聖句を覚えその意味を知る。
援助配慮環境の構成		<ul style="list-style-type: none"> ○年長になった喜びと不安に揺れ動く気持ちをとらえて、かかわりの中で安心感が持てるよう園の楽しさや生活を伝えていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども同士の気持ちのいき違い、葛藤を受け止め、子どもが自分で気持ちの切り替えができるよう援助する。 ○遊びの中で、基本的な動きや方法をさまざまに経験できるよう援助する。
家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> ○園便りなどで子どものようすやクラスの雰囲気や細かに伝え、園と家庭が互いに情報交換しながら子育てができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏の健康管理や生活リズムが乱れないように家庭と連携する。 ○子どもは、試行錯誤しながら育っていくようすを伝え、温かく見守りながら励ま
地域との連携		<ul style="list-style-type: none"> ○育む会運動会への参加 ○園近辺の散歩 ○地域の保育園との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域保育園と交流の機会に参加したり、見たりして、親しみを持つことができるようにする。
食育		<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな食べ物をみずから進んで食べる。 ○同じ物を食べ、味わいながら食事をするを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ慣れない食品や嫌いな食べ物を食べようとする。 ○食事を共にし、友達とのかかわりを深め、思いやる気持ちを持つ。